

身の丈にあった借入れとは？

1. 自社の借入金対月商倍率は？

身の丈にあった借入れを考える指標の一つに、借入金対月商の何倍あるのかを示す「借入金対月商倍率（月）」があります。

◎計算式

$$\text{借入金対月商倍率（月）} = \frac{\text{借入金}}{\frac{\text{年間売上高}}{12}}$$

業種によって異なりますが、一般的に、3 か月以内ぐらいが適正とされ、6 か月を超えると危険水域といわれています。

平成 29 年版「TKC 経営指標（BAST）」によれば、「全産業：業績区分別」「主要業種別（黒字企業平均）」の借入金対月商倍率は、次のようになっています。

◎全産業：業績区分別

(月)

優良企業平均	1.1	欠損企業平均	6.1
黒字企業平均	3.5	全企業平均	4.2

◎主要業種別（黒字企業平均）

(月)

全産業	3.5	情報通信業	2.1
建設業	2.2	専門・技術サービス業	2.8
製造業	4.2	生活関連サービス業、娯楽業	3.8
卸売業	2.2	宿泊業・飲食サービス業	4.7
小売業	2.2	サービス業（その他）	2.8

これを見ると、優良企業は 1.1 月、黒字企業は 3.5 月と適正な水準なのに対して、欠損（赤字）企業は、借入金対月商の 6.1 月になっています。これでは、借入金対年間売上高の半分を占めることとなり、赤字企業ほど資金繰りが苦しいことがうかがえます。

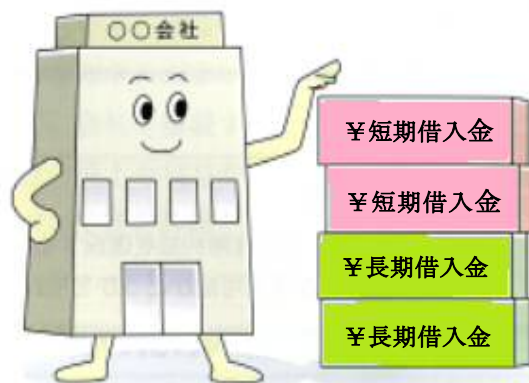
2. 赤字企業は自己資本比率が低い

返済不要の自己資本が、総資本（自己資本＋他人資本）に占める割合を示す指標に「自己資本比率（％）」があります。「TKC 経営指標」では、次のようになっています。

◎全産業：業績区分別

優良企業平均	62.9	欠損企業平均	2.3
黒字企業平均	40.6	全企業平均	31.4

優良企業は、62.9%、黒字企業は 40.2%と、自己資本比率が高いのに対して、欠損（赤字）企業は、2.3%しかありません。つまり、赤字企業は総資本のほとんどを借入金や買掛金などの他人資本で賄っていることとなります。自己資本の割合が低いと資金繰りが苦しくなるのです。



出典:TKC 事務所通信

確定申告無料相談会のご案内

【不動産等の譲渡・贈与の相談日】

2月6日（火）、2月13日（火）、2月20日（火）2月27日（火）、3月6日（火）

【上記以外の相談日】

2月2日（金）、2月8日（木）、2月15日（木）2月22日（木）、3月1日（木）

【場所】 バイヒルズ税理士法人 【時間】 10時～17時 【費用】 無料（1時間以内）

※相談会のご予約は 0120-676-372 までお電話ください。